

(参考様式5)

事業活用活性化計画目標評価報告書

計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
栃木県茂木町	09343	2	平成20年度～平成22年度	平成20年度～平成22年度
活性化計画の区域				
当該区域は、総世帯数に占める農家世帯数が38.6%、就業人口のうち農業人口が21.8%と農林漁業の重要な地域であり、本町全域の内市街化区域を除き、農業振興を重点に図る農用地区域1598haとする。当該区域は、中山間地域に位置し、営農不利地となっている。農業従事者の減少、担い手不足等の重要な課題を抱えているが、近年、都市農村交流が盛んに行われており、これまでの実績を活かした都市との交流を促進することが地域活性化のために有効かつ適切である。当該区域は、本町の市街化区域を除いた区域で設定している。				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
定住等の促進に資する遊休農地の解消	93ha	93ha	100%	

(コメント)
オーナー制度取組地区が1地区増加し、交流人口が増加した。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
遊休農地解消支援	遊休農地情報とりまとめ、遊休農地対策検討会、モデル圃場設置、モデル地区における利用促進			茂木町
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
茂木町	H20	H22		
事業の効果				
本事業により、地区内オーナー制度交流人口が増加した。				

3 総合評価

(コメント)
本事業の実施により、遊休農地が解消され、地区内オーナー制度交流人口も増加した。

4 第三者の意見

(コメント)
当町は、中山間地域に位置し、農業施策が難しい地域である。その中で、遊休農地の解消対策を、都市住民との交流・オーナー制度を活用することは、効果的であると考えます。今後とも、農村地域活性化対策のため、制度の継続が必要である。